



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月7日

上場会社名 日清オイリオグループ株式会社  
 コード番号 2602  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長  
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東・大  
 URL <http://www.nisshin-oillio.com>  
 (氏名) 今村 隆郎  
 (氏名) 太田良 猛 (TEL) 03(3206)5670  
 配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	72,805	△7.2	1,578	△22.9	1,435	△29.8	826	△6.9
24年3月期第1四半期	78,450	5.0	2,047	9.1	2,045	20.7	887	357.9

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 2,032百万円(−%) 24年3月期第1四半期△258百万円(−%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	4.97	—
24年3月期第1四半期	5.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	252,155	114,099	42.8
24年3月期	237,132	113,266	45.2

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 107,860百万円 24年3月期 107,092百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	160,000	2.6	2,500	△33.8	2,500	△28.0	1,000	△38.0	6.02
通 期	330,000	5.6	6,500	10.2	6,000	11.2	3,000	△21.7	18.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名 )、除外 一社 (社名 )

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有  
 ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	173,339,287株	24年3月期	173,339,287株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	7,158,572株	24年3月期	7,157,670株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	166,181,050株	24年3月期1Q	170,583,023株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(7) 重要な後発事象	12
4. (参考) 補足情報	13
個別業績の概要	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、東日本大震災からの復興需要等により、緩やかに回復しつつある一方で、欧州の債務問題や長期化する円高の影響等、先行き不透明な状況が続きました。

このような環境下において、当社グループでは、「GROWTH 10～『“植物のチカラ”を新たな価値へ』成長10年構想～」のもと、昨年度からスタートした中期経営計画「GROWTH 10 フェーズⅡ」において、「安定した収益基盤の確立」と「確かな成長の実現」をテーマに事業構造の変革を進め、利益志向・技術重視・海外市場開拓をキーワードに経営資源の再配分を積極的に推進してまいりました。

当第1四半期連結累計期間の業績としましては、売上高は前年同期に比べ7.2%減少の728億5百万円となりました。また、利益面では、営業利益が15億78百万円と前年同期に比べ22.9%、経常利益が14億35百万円と同29.8%、四半期純利益が8億26百万円と同6.9%、それぞれ減少しました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## 〔油脂・油糧事業〕

油脂・油糧事業につきましては、引き続き厳しい環境となっております。穀物相場は、世界的な食糧需要の増加や南米の大豆減産により、前年同期との比較では幾分低い水準となりましたが、四半期を通して高値圏で推移しました。一方、為替につきましては円高傾向で推移したため、大豆・菜種などの原料価格は、前年同期より若干下落したものの、直前四半期との比較では上昇となりました。

国内につきましては、油脂製品について引き続き高付加価値商品の拡販を推進するとともに、適正な販売価格の形成に取り組みました。しかしながら、販売数量は前年同期並みでしたが、販売価格が前年後半の下落から上昇に転じているものの、前年同期の水準までには至らなかったことにより、売上高は前年同期を下回りました。油粕につきましては、大豆粕は、大豆搾油量の減少に伴い販売数量が減少するとともに、世界的なミールバリューの低下による販売価格の下落により売上高も前年同期を下回りました。菜種粕においては、販売数量は前年同期に比べ増加しましたが、需給の緩和により大豆粕に対する比価が低下したため、売上高は前年同期を下回りました。

大連日清製油有限公司につきましては、中国国内で採算がとりにくい環境が継続し、販売先を絞り込んだため販売数量、売上高ともに前年同期に比べ減少しましたが、利益面においては前年同期並みとなりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は前年同期に比べ6.9%減少の481億70百万円となり、営業利益は10億46百万円と前年同期に比べ31.0%減少しました。

## 〔加工油脂事業〕

国内の加工油脂事業につきましては、主としてショートニング類を中心に販売数量を伸ばし、利益面でも前年同期を上回りました。子会社の大東カカオ(株)につきましては、販売数量、売上高ともに前年同期並みを確保し、利益面では前年同期を上回りました。

Intercontinental Specialty Fats Sdn. Bhd. につきましては、欧州向け需要の低迷もあり、販売数量、売上高ともに前年同期を下回り、利益面におきましても前年同期を下回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は前年同期に比べ14.0%減少の174億35百万円となりましたが、営業利益は4億53百万円と前年同期に比べ5.5%増加しました。

## 〔ヘルシーフーズ事業〕

ドレッシング・マヨネーズ類につきましては、「日清ドレッシングダイエット」2アイテム追加や従来品リニューアル、さらに積極的な販売活動を展開したことにより、販売数量、売上高ともに前年同期を上回ることができました。また、治療食品では泌尿器対応食品・腎臓対応食品がともに好調に推移した一方で、特保商品・高齢者食品は、販売数量、売上高ともに前年同期を下回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は前年同期に比べ2.1%増加の18億72百万円となり、営業損失は18百万円と前年同期に比べ33百万円改善しました。

## 〔ファインケミカル事業〕

化粧品原料につきましては、欧州向け販売が低迷する一方で中国や韓国向けが大幅に増加し、国内販売につきましても震災特需のあった前年同期と同水準を維持することができました。一方、化学品・中鎖脂肪酸油につきましては、前年同期を下回りました。

Industrial Quimica Lasem, S.A. につきましては、昨年7月に株式を取得し連結子会社となっております。前期の第4四半期より連結業績に寄与しております。

これらの結果、当セグメントの売上高は前年同期に比べ25.2%増加の32億76百万円となりましたが、新たなのれんの償却負担の影響もあり、営業利益は1億67百万円と前年同期に比べ16.6%減少しました。

## 〔大豆食品素材事業〕

大豆食品素材事業につきましては、生産・販売・技術サポートが一体となった事業展開や、新商品による顧客・市場開拓を進め、販売数量、売上高ともに前年同期を上回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は前年同期に比べ5.8%増加の12億13百万円となり、営業利益は26百万円と前年同期に比べ18百万円増加しました。

## 〔その他〕

情報システム事業をはじめその他の事業の売上高は、前年同期に比べ1.2%増加の8億35百万円となりましたが、営業利益は63百万円と前年同期に比べ25百万円減少しました。

## 〔地域別売上高〕

中国、マレーシアなどのアジア向け売上高は、前年同期に比べ10.1%減少の111億21百万円となりました。また、欧州、米国などのその他地域への売上高は、前年同期に比べ30.8%減少の47億11百万円となりました。なお、連結売上高に占める海外売上高の割合につきましては、前年同期に比べ2.7ポイント減少し21.7%となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債および純資産の状況の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ150億22百万円増加し、2,521億55百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が14億35百万円、短期貸付金が99億80百万円減少した一方で、売上債権が61億62百万円、たな卸資産が197億51百万円増加したことであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ141億89百万円増加し、1,380億56百万円となりました。仕入債務が111億57百万円、短期借入金が33億5百万円それぞれ増加したことが主な要因であります。

純資産は、主に為替換算調整勘定が10億28百万円増加したことにより前連結会計年度末に比べ8億32百万円増加し、1,140億99百万円となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況の分析

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に対して、114億41百万円減少し、155億37百万円となりました。

## 〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

営業活動によるキャッシュ・フローは、114億40百万円の減少となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益16億20百万円、減価償却費14億60百万円、仕入債務の増加106億20百万円によるキャッシュの増加および売上債権の増加55億63百万円、たな卸資産の増加186億47百万円によるキャッシュの減少であります。

## 〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

投資活動によるキャッシュ・フローは、8億90百万円の減少となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出9億98百万円、投資有価証券の償還による収入1億50百万円であります。

## 〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

財務活動によるキャッシュ・フローは、4億19百万円の増加となりました。主な内訳は、短期借入金の純増加18億77百万円、長期借入金の増加3億14百万円、長期借入金の返済による支出8億5百万円、配当金の支払8億31百万円であります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期以降においても第1四半期同様に穀物相場が高値圏で推移しており、厳しい経営環境が続くと予想されますが、当社グループではコスト構造の改革を推進するとともに、引き続き高付加価値商品の拡販や適正な販売価格の形成に努めてまいります。したがって、第2四半期連結累計期間および通期の業績予想につきましては、平成24年5月9日決算発表時の数値を変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

原価差異の繰延処理

季節的に変動する操業度により発生した原価差異は、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動負債として繰延べております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,222	15,787
受取手形及び売掛金	56,001	62,164
有価証券	251	202
たな卸資産	44,065	63,816
その他	17,597	8,125
貸倒引当金	△28	△21
流動資産合計	135,109	150,074
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	25,885	25,796
機械装置及び運搬具(純額)	16,032	16,275
土地	28,206	28,232
その他(純額)	3,838	4,368
有形固定資産合計	73,962	74,671
無形固定資産		
のれん	4,560	4,594
その他	1,805	1,720
無形固定資産合計	6,365	6,314
投資その他の資産		
投資有価証券	16,114	15,504
その他	6,108	6,144
貸倒引当金	△587	△610
投資その他の資産合計	21,636	21,038
固定資産合計	101,964	102,025
繰延資産		
社債発行費	58	55
繰延資産合計	58	55
資産合計	237,132	252,155



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,511	42,669
短期借入金	18,608	21,914
1年内償還予定の社債	5,000	5,000
未払法人税等	398	551
引当金	53	54
その他	17,786	17,755
流動負債合計	73,359	87,946
固定負債		
社債	25,000	25,000
長期借入金	17,540	17,330
引当金	2,387	2,314
負ののれん	13	11
その他	5,565	5,452
固定負債合計	50,506	50,109
負債合計	123,866	138,056
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,332	16,332
資本剰余金	26,072	26,072
利益剰余金	68,284	68,279
自己株式	△2,781	△2,781
株主資本合計	107,907	107,902
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,083	714
繰延ヘッジ損益	99	213
為替換算調整勘定	△1,998	△969
その他の包括利益累計額合計	△814	△41
少数株主持分	6,173	6,238
純資産合計	113,266	114,099
負債純資産合計	237,132	252,155

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	78,450	72,805
売上原価	65,828	60,524
売上総利益	12,622	12,281
販売費及び一般管理費	10,574	10,702
営業利益	2,047	1,578
営業外収益		
受取利息	16	32
受取配当金	135	127
為替差益	116	—
負ののれん償却額	2	2
持分法による投資利益	57	34
その他	56	37
営業外収益合計	386	235
営業外費用		
支払利息	315	310
為替差損	—	16
たな卸資産処分損	22	20
その他	50	32
営業外費用合計	388	379
経常利益	2,045	1,435
特別利益		
固定資産売却益	—	195
投資有価証券売却益	65	—
負ののれん発生益	—	14
特別利益合計	65	210
特別損失		
災害による損失	199	—
固定資産除却損	29	21
投資有価証券評価損	138	3
特別損失合計	367	24
税金等調整前四半期純利益	1,743	1,620
法人税等	791	666
少数株主損益調整前四半期純利益	952	954
少数株主利益	64	128
四半期純利益	887	826

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	952	954
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△101	△361
繰延ヘッジ損益	△1,696	184
為替換算調整勘定	565	1,206
持分法適用会社に対する持分相当額	21	48
その他の包括利益合計	△1,210	1,078
四半期包括利益	△258	2,032
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△97	1,599
少数株主に係る四半期包括利益	△161	433

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1 四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1 四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,743	1,620
減価償却費	1,479	1,460
のれん償却額	21	60
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△24	17
受取利息及び受取配当金	△152	△160
支払利息	315	310
持分法による投資損益 (△は益)	△57	△34
災害損失	199	—
固定資産除売却損益 (△は益)	29	△174
投資有価証券売却損益 (△は益)	△65	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	138	3
負ののれん発生益	—	△14
売上債権の増減額 (△は増加)	△909	△5,563
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△7,004	△18,647
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,575	10,620
その他	1,331	△365
小計	△7,531	△10,866
利息及び配当金の受取額	131	159
利息の支払額	△242	△239
法人税等の支払額	△638	△492
営業活動によるキャッシュ・フロー	△8,280	△11,440
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の純増減額 (△は増加)	△2	—
有形固定資産の取得による支出	△878	△998
有形固定資産の売却による収入	—	1
投資有価証券の取得による支出	△33	△6
投資有価証券の売却による収入	95	—
投資有価証券の償還による収入	300	150
その他	△124	△37
投資活動によるキャッシュ・フロー	△643	△890
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	507	1,877
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	3,500	—
長期借入れによる収入	371	314
長期借入金の返済による支出	△341	△805
配当金の支払額	△861	△831
自己株式の取得による支出	△1,640	△0
少数株主への配当金の支払額	△51	△50
その他	△49	△83
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,436	419
現金及び現金同等物に係る換算差額	208	469
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△7,279	△11,441
現金及び現金同等物の期首残高	15,992	26,978
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,713	15,537

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社は、本社に製品別の事業部を置き、各事業部は取り扱う製品について国内および海外の包括的な戦略を立案し事業活動を展開しております。したがって、当社は事業部を基礎とした製品別セグメントから構成されており、「油脂・油糧事業」、「加工油脂事業」、「ヘルシーフーズ事業」、「ファインケミカル事業」および「大豆食品素材事業」の5つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの主な製品は、以下のとおりであります。

事業区分	主要製品
油脂・油糧事業	家庭用食用油、業務用食用油、加工用油脂、油粕
加工油脂事業	パーム加工品、チョコレート用油脂、マーガリン、ショートニング、チョコレート関連製品
ヘルシーフーズ事業	ドレッシング・マヨネーズ類、生活習慣病対応食品、高齢者・介護食品、治療関連食品、栄養調整食品、機能性素材、豆腐類
ファインケミカル事業	化粧品・トイレタリー原料、化学品、中鎖脂肪酸油、レシチン、トコフェロール、洗剤、殺菌洗浄剤、界面活性剤
大豆食品素材事業	食品大豆、大豆たん白
その他	コンピューター関連、販売促進、スポーツ施設経営、損害保険代理、不動産賃貸

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	油脂・ 油糧事業	加工油脂 事業	ヘルシー フーズ 事業	ファイン ケミカル 事業	大豆食品 素材事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	51,757	20,269	1,834	2,616	1,146	77,624	825	78,450	—	78,450
セグメント間の内部 売上高又は振替高	736	968	19	20	14	1,760	467	2,228	(2,228)	—
計	52,494	21,238	1,854	2,637	1,161	79,385	1,292	80,678	(2,228)	78,450
セグメント利益 又は損失(△)	1,518	429	△51	201	8	2,104	88	2,193	(146)	2,047

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額(146)百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用等が含まれております。なお、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	油脂・ 油糧事業	加工油脂 事業	ヘルシー フーズ 事業	ファイ ンケミ カル 事業	大豆食品 素材事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	48,170	17,435	1,872	3,276	1,213	71,969	835	72,805	—	72,805
セグメント間の内部 売上高又は振替高	783	1,032	21	24	16	1,877	508	2,386	(2,386)	—
計	48,953	18,468	1,894	3,300	1,229	73,847	1,344	75,192	(2,386)	72,805
セグメント利益 又は損失(△)	1,046	453	△18	167	26	1,675	63	1,738	(160)	1,578

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額(160)百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用等が含まれております。なお、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

### 3 地域に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	その他	合計
売上高	59,272	12,369	6,807	78,450
売上高に占める比率	75.5%	15.8%	8.7%	100.0%

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	その他	合計
売上高	56,973	11,121	4,711	72,805
売上高に占める比率	78.2%	15.3%	6.5%	100.0%

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しております。

#### (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

該当事項はありません。

#### (7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

## 4. (参考) 補足情報

## 個別業績の概要

平成25年3月期第1四半期の個別経営成績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	44,180	△5.7	1,079	△21.7	1,670	△20.8	1,253	△8.2
24年3月期第1四半期	46,861	2.4	1,378	73.7	2,107	65.6	1,365	302.0

(注) 個別業績数値は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。